



原山通信

第6号 H28.10.17発行

-生徒指導便り-

担当 中野 弘道

名言を心に・・・

「努力した者が成功するとは限らない。
しかし、成功する者は皆努力している」
- ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン -

勉強・恋愛・スポーツ・仕事、どんな領域でもたびたび見かけるキーワード「努力」。これほどまでに、多くの人の人生に影響を与えてきた言葉はないでしょう。

今回の名言は、音楽の授業を受けている人なら一度は聞いたことがある「運命」の作曲家であるルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンです。バッハ、モーツアルト等と並んで音楽史上極めて重要な音楽家であり、日本では「楽聖（きわめて優れた音楽家をたたえている語）」とも呼ばれています。

諸説ありますがベートーヴェンは、世間的にも名声を得てきた矢先の28歳の時に、自分の耳が聞こえづらくなってきていること（難聴）に気が付きます。「音が聞きとりにくい」から「音が聞こえない、音が出たのが分からない」に症状は悪化していきます。この難聴を自覚してからベートーヴェンの症状は日に日に進行していきます。音を楽しみ、音楽を創り出す音楽家のベートーヴェンにとって致命的なダメージであったと言えます。30歳になるころには、ほとんど聞こえなくなっていたようです。この難聴を苦にしたベートーヴェンは自害までも考えていました。しかし、演奏家を含めた従来の音楽家から、作曲専業としての音楽家に転進することでベートーヴェンは、音楽家としての道をつなぐことを決意したのです。ちなみに皆さんが知っている「運命」は、音がほとんど聞こえなくなった37歳の時に作曲されたといわれています。

200年以上前に残したベートーヴェンの言葉「努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功する者はみな努力している」には、成功を目指し努力を続ける多くの人間の原動力となっているのは間違いないでしょう。

努力論の代表的な名言の一つに「努力は必ず報われる」があります。英語では「Hard work pays off」と言います。この言葉を信じることができれば、人はどれだけ辛くても努力し続けることができます。

「努力は必ず報われる」が本当だらうと、嘘だらうと、努力しなければ成功しないことに変わりはありません。失敗を恐れ、努力することをためらっている人の背中を押してくれる一言だと私は思います。ただ問題は、「努力」とは具体的に何を指しているのか、「報われる」とは具体的に何を指しているのかが不明であり、この言葉だけ見ても答えを出すのは難しいことです。例えば「毎日30km走る」のはどう考えても努力ですが、だからといって「毎日30km走れば医者になれるか」と言えば当然嘘になります。この例は極端な例ではありますが、ここで言いたいのは「どう努力するか」と「どう報われたいのか」が噛み合っていなければ、報われるわけがないということです。今、努力中の人。これから努力を始めようとしている人。努力をすることが苦手な人。いろいろな人がいると思いますが、「努力をするからには報われたい」と思うのが当然の考え方だと思います。あなたの「どう努力するか」と「どう報われたいのか」は本当に噛み合っているか一度考えてみてください。



「伝統という名のバトン」

体育館に響き渡る拍手と歓声、運動場を埋め尽くす笑顔、そして時として見せる真剣な眼差し。第32回知多中祭は、「つかめNo.1 創り出せOnly 1」のスローガンにふさわしい知多中の姿であふれていきました。

5色のチームに分かれ、他学年と力を合わせ縦割りで活動する体育祭。最上級生としてチームを牽引する3年生は、「人に思いを伝える難しさ」「人に何かを説明する難しさ」「人を束ねる難しさ」を自身をもって感じたのではないでしょうか。「来年は自分たちがこうやって後輩たちをまとめいくんだ」2年生の皆さんには、そんな思いを胸に3年生の姿を見ていたのではないでしょうか。「中学校の体育祭はすごいなあ」1年生のみなさんは、何もかもが初めての体験でしたね。

この縦割りでの活動は、知多中学校のよき伝統の一つです。生徒同士が意見を出し合い、悩み、苦労し、時に衝突し、時に手をとり支え合い、互いに成長していくのです。人は、自分以外の誰かと関わり合う中で、初めて自分自身を見つめることができるのでないでしょうか。自分の長所、短所、そして自分らしさに目を向け、自分という存在を感じることで初めて、他者を思う心が育つのではないかでしょうか。上級生から下級生へと受け継がれる伝統という名のバトンは、年月が経っても色あせることなく、今年も確かに、この原山の丘で受け継がれたと思います。



知多中生ならできるー教室環境の整備ー



左の写真に見覚えがありますか？5月号の生徒指導便りに掲載した、あるクラスの6時間目の教室の写真です。6時間目が移動教室だったため、掃除の準備をしてから移動していた様子を写したものでした。

「グラウンド整備や部室の中の様子を見れば、そのチームのこととはたいてい分かる」昔、ある部活動の指導者に教わった言葉です。これを教室に置き換えると・・・。

その気になれば、絶対にできることです。難しいことではないはずです。

ロッカー内やロッカーの上の整理整頓はできていますか。

机や椅子の整理整頓はできていますか。

移動教室のときに、教室の窓は閉まっていますか。

移動教室のときに、机の引き出しに教科書やプリントは片付けてありますか。

移動教室のときに、教室の照明は消えていますか。黒板は消してありますか。

体育時に着替えた服はたたんでいますか。

環境は人を変えます。よくも悪くも変えます。整った教室環境で生活し、落ち着いた心の状態で授業を受けましょう。

※ホームページが新しくなりました。ぜひ皆さんご覧ください。

知多中学校

◇ホームページ : <http://www.schoolweb.ne.jp/chita/chita-j/>

◇携帯電話サイト : <http://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/index-i.php?id=2320095>

◇Email : chitajhs@ma.medias.ne.jp